

学童保育指導員（放課後児童支援員等）の資質向上のための研修会

第48回

全国学童保育指導員学校東北会場



2023年7月2日（日）

10:30~16:15（9:30 受付開始）

全体会：東北大学川内萩ホールほか

*Zoom 配信あり

公開講座 *Zoom 配信あり

2023年7月1日（土）

13:30~15:00

会場：エル・パーク仙台 食のアトリエ

学童保育は、「子どもたちの放課後を安全に集団の中でいきいきと成長させたい。そして安心して働きたい。」という親たちの切実な願いから生まれました。2022年5月1日現在、全国には3万5,337支援の単位の学童保育があり、134万8,122人の子どもたちが毎日生活しています。

2011年、東日本大震災と原発事故が起きました。その後も、豪雨による水害、度重なる地震など、自然の猛威による災害が続いていますが、東北各地学童保育では、指導員が子どもの命と心を守り、その後も子どもと保護者の生活と心を支え続けています。

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）対応のなかで、現場では、子どもたちの心やからだの変化などについても危惧する声も寄せられていました。この3年間をふり返ると、私たちがこれまで大切にしてきた子ども・保護者との関わり方、保育のあり方が大きく変化していないでしょうか。また、感染拡大当初より、「学童保育は社会の機能を維持するために必要な事業」であるという認識や期待が広がると同時に、現行の制度の脆弱性が浮き彫りになりました。

子どもの命を守り、安全に安心して過ごせる継続的な「生活と遊びの場」を保障するために、また、高い専門性が求められる指導員が、専門職として自信と誇りをもって働き続けるために、ともに学び合いましょう。

主催 全国学童保育指導員学校東北会場実行委員会

全国学童保育連絡協議会

青森県学童保育連絡協議会準備会・岩手県学童保育連絡協議会

宮城県学童保育連絡協議会・山形県学童保育連絡協議会

福島県学童クラブ連絡協議会

協力 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

後援（予定）

宮城県・仙台市・青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県 ほか 東北各自治体

東北のマスコミ各社

◆ 日 程

7月2日（日）

9：30	10：30	12：30	13：45	16：15
受付	全体会	休憩	講座	

◆ 全体会 10：30～12：30（9：30～受付開始）

- 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- 全体講義 『子どももおとなも幸せになる学童保育
～あそび・表現・発達を中心に～』
講師：川地亜弥子（神戸大学）

【講師プロフィール】神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授。研究分野は「教育方法学」。人間の発達を助成する意図的な営みとして教育をとらえ、特に、子どもの生活と言語表現の指導に注目して研究している。

近著に、「子どもとつくるわくわく実践：ねがいひろがる教育・保育・療育」（全障研出版部）、「時代を拓いた教師たちⅢ：実践記録で紡ぐ戦前教育実践への扉」（日本標準）がある。

【全体会会場】 東北大学川内萩ホール 仙台市青葉区川内 40

【講座会場】 東北大学川内南キャンパス 仙台市青葉区川内 27-1

● アクセス

① 地下鉄利用の場合

仙台駅から市営地下鉄東西線八木山動物園行き
国際センター駅下車 西1出口から徒歩約5分

② 自動車で来場の場合

東北自動車道「仙台宮城 IC」より西道路経由 *川内萩ホール駐車場(無料)が利用できます。

*会場へのアクセス情報はこち



【公開講座】 実演を含むワークショップ

7月1日（土） 13：30～15：00（13：15 開場）

※ オンライン受付は 13：00 から

- 内 容：「夏休みに役立つ！手軽にできる学童保育のお弁当づくり」
「食」は、子どもたちが関係性を身につけ、生活の力を高める大切な場。でも保護者にとって、長い夏休み、出勤前のお弁当づくりは大きな負担です。時間が無くても簡単に作れるお弁当を、実演を交えてお伝えします。保護者の皆さんはもとより、職員の皆さまもご参加ください。
- 講 師：平本福子（宮城学院女子大学名誉教授・学童保育の「食」を考える会代表）
高橋比呂映（宮城学院女子大学）
- 会 場：エル・パーク仙台5階「食のアトリエ」 *Zoomでのオンライン参加もできます。
仙台市青葉区一番町 4-11-1 141ビル（仙台三越定禅寺通り館）
- アクセス 仙台駅から市営地下鉄南北線 泉中央駅行き「勾当台公園駅」下車
（南1番出口より地下道で連結）
- その他：公開講座のみの参加は無料 申込方法は同じ

	受講形式	講座内容
実践交流	会場参加のみ	<p>【講座1】学童保育の生活づくりで大切にしたい視点 助言者：小淵隆司（北海道教育大学釧路校）</p> <p>学童保育は子ども・指導員・保護者がともに行う「子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」を、「生活づくり」と呼んで、大切にしてきました。『日本の学童ほいく』の2022年度後期の講座「子どもの生活と発達を学びほぐす臨床的試論」の筆者 小淵隆司先生を助言者に迎え、実践を交流しながら大切な視点について学びあいましょう。</p>
		<p>【講座2】 高学年にとっての学童保育 講師：橋本倫一（福島県・小学校教諭）</p> <p>学童保育の対象児童は6年生までとなり、震災など災害の不安からも高学年が在籍する学童クラブが少なくありません。しかしコロナ禍で「家にいられる」とやめていく子どもたちもいます。高学年にとって「心と体のよりどころとなる学童保育」を保障するために、指導員はどのような工夫をしたらよいのでしょうか。小学校の現場の先生から高学年の発達、抱えている課題などを学びながら、学童保育での高学年の生活をどう組み立てたらよいのか実践報告、経験交流しましょう。</p>
講義と交流	会場参加のみ	<p>【講座3】 障害のある子どもを含めた生活づくり 助言者：梅津憲栄（山形県・作業療法士）</p> <p>障害のある子ども、発達障害の子どもの「困り」に寄り添いながら、学童保育に通うすべての子どもたちが安心して過ごすことができるように、学童保育指導員が日々努力しています。子ども一人ひとりが大切にされ、多様な子どもたちが共に育ちあう生活づくりとはどのようなものか、実践をもとに話し合い、学び合しましょう。</p>
		<p>【講座4】 学童保育が支える厳しい社会状況の中での子育て・子育ち 話題提供：片山佐和子（河北新報社報道部記者）ほか コメント：佐藤正恵（石巻専修大学）</p> <p>厳しい社会状況の下、様々な不安から余裕を失っている保護者が増え、保護者との安定した関係が築けない子どものアタッチメントの問題が、話題になっています。保護者を追いつめる社会的背景を知り、保護者や子どもに寄り添い子育てを支えてきた事例を交えて、学童保育の役割を参加者と共に考えあいましょう。</p>
基礎講座	オンラインのみ	<p>【講座5】 学童保育指導員の仕事と役割 講師：山田和江（福島県福島市指導員）</p> <p>「子ども・子育て支援新制度」において国の基準や「放課後児童クラブ運営指針」の策定、「放課後児童支援員」という資格の創設が行われ7年になります。コロナ禍では、子どもと保護者にこれまで以上のきめ細やかな対応が求められ、その社会的責任は大きくなっています。この講座では改めて「放課後児童クラブ運営指針」をもとに、子どもたちに安心して安全に過ごせる継続的な「生活の場」を保障するための学童保育指導員の仕事と役割について学び合しましょう。</p>
		<p>【講座6】 学童っ子の親としての思い、寄り添う指導員の思い～保護者会と指導員のつながり～ 岩手県学童保育連絡協議会</p> <p>学童っ子の親としての思い、役員としての思い、寄り添う指導員としての思い…学童保育にはさまざまな思いが交差しています。「子育てと仕事の両立で大変」「行事が面倒くさい」「役員が大変」「役員とどのように関わっていけばよいのか悩んでいる」など悩みは尽きません。そもそも保護者会とは何でしょうか？親の立場、指導員の立場で交流することによって、なぜ保護者会が必要なのか保護者会があることでどんな良さがうまれるのかを考えていき、明日へのよりよい保育につなげていきましょう。</p>
講義	オンライン（会場で視聴可）	<p>【講座7】 子どもの心とからだ 講師：鎌田克信（東北福祉大学）</p> <p>コロナ禍の中、生活様式・社会状況の変化とともに、子どもたちは制限の多い生活を送っています。そのことが子どもたちに様々な影響をもたらしています。今日の子どもの特徴、成長期にある子どものからだと心の変化について考えるうえで、子どもに関わる私たち大人が大切にしたいことを学びます。</p>
		<p>【講座8】 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題 講師：佐藤愛子（全国学童保育連絡協議会）</p> <p>こども基本法の制定やこども家庭庁の設立など、施策が大きく変わろうとしています。COVID-19対応などを通して学童保育への社会的認知は広がりましたが、大規模化、不十分な施設・設備、指導員の処遇など、施策そのものの脆弱性も明らかになっています。あわせて、運営主体の変更や保護者や地域との関わりなど、実践上の課題もあります。学童保育・指導員の現状と課題を確かめあい、学童保育をよりよくしていくための運動の視点を学び合しましょう。</p>
交流	会場参加のみ	

- ◆ **受講料** 一人 2,500 円 (税込) ※公開講座のみの参加者は無料

【東日本大震災被災地からの参加者への受講支援】

東日本大震災で被害が大きかった、岩手県、宮城県、福島県の各地域からの受講者には、全国学童保育連絡協議会に寄せられた「東日本大震災 学童保育支援募金」から受講のための支援をします。詳細は各県の連絡協議会にお問合せください。

- ◆ **受講会場** 全体会：東北大学川内萩ホール *会場参加、配信
講 座：講座1・2・3・4 東北大学川内萩ホール及び川内南キャンパス (配信なし)
講座5・6・7・8 配信のみ (Zoom 利用) (会場参加なし)
講座7 会場 (萩ホール) で視聴できます
*講座ごとに受講形式が異なります。講座一覧をご確認ください。

- ◆ **定 員** 申込みは先着順です。定員がありますので、お早めにお申込みください。
※午後の講座は第2希望までご記入ください。定員超過の際はご希望に沿えないこともあります。

- ◆ **昼 食** 希望者には弁当を 700 円で斡旋します。*会場 (東北大学) で受講の場合のみ
※会場の東北大学萩ホール・川内南キャンパス近隣にはコンビニや飲食店はありません。

◆ **申込み方法**

- 申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、受講料 (一人 2,500 円) と弁当代 (希望者) を指定の口座に送金し、控えのコピーを添えてメールまたは FAX でお申し込みください。
- 申し込みの際に記入いただいた個人情報は、指導員学校の受付業務・運営・助成金申請に必要な範囲で、実行委員会が管理・運用致します。

- ◆ **申込み先** 振込手数料については各自負担になりますので、ご了承ください。

青森・岩手・宮城・福島の方は、各県の連絡協議会までお申し込みください。左記の4県以外の方は山形県学童保育連絡協議会へお申し込みください。

- **山形県学童保育連絡協議会** FAX：023-674-9783
Mail：ken-gakudou@bz04.plala.or.jp

受講料送金先：山形信用金庫 山形営業部 普通 0974757
山形県学童保育連絡協議会 会長 高木 直

◆ **締切り**

- **6月12日 (月)** キャンセル期限 6月19日 (月)
※キャンセル期限までにご連絡いただいた場合は、振込み手数料を差し引いて返金致します。
それ以降につきましては、「受講のしおり」の発送をもってかえさせていただきます。

- ◆ **問合せ先** 研修内容：全国学童保育連絡協議会 03-3813-0477
申込み等：山形県学童保育連絡協議会 023-674-9782

ken-gakudou@bz04.plala.or.jp

青森・岩手・宮城・福島の方は、各県の連絡協議会までお問い合わせください。

◆ **お願い**

- オンラインで受講される方は、事前に Zoom アプリのダウンロードをお願いします。受講の際は、インターネット環境を安定させ安心して受講できるよう、LAN ケーブルを使った有線接続をお奨めします。Zoom の URL・ミーティング ID・パスコードはメールで送ります。
- 受講時の不測の事態に備え、当日確実に連絡が付く連絡先を必ずご記入ください。
- 当日の資料冊子「受講のしおり」は、申込みの際にご記入いただいた送付先に郵送します。
- 会場参加の場合、保育室はありません。ご了承ください。
- 受講のための受付番号は、「受講のしおり」と一緒にお送りする連絡票に記載いたします。